

地域就職氷河期世代支援加速化交付金事業の実施について（第2ステージ：令和5年度～令和6年度）

事業の目的

当事業は、就職氷河期に就職期を迎えた方で、本人の意に反して非正規雇用で働いている方の正規雇用を支援するとともに、県内企業の人手不足を解消することなどを目的として実施するものである。

事業内容

・不本意非正規労働者等の正規雇用化、企業の人材不足の解消を目的として、ハローワークと併設の施設である埼玉しごとセンターに就職氷河期コーナーを設置し、各種セミナー、キャリアカウンセリングを実施。

→K P I ④

・若者自立支援センター埼玉において、職業理解を図ることなどを目的として有償型の就業体験を実施。

→K P I ⑤

重要業績評価指標（K P I）

（1）K P I の設定

K P I ④ 正社員雇用就職者数

K P I ⑤ 有償型就業体験参加者のうち非正規雇用就職者数

（2）K P I の計画目標及び実績

	令和5年度 (一年目)	令和6年度 (二年目)	計画中の増加分の 累計
K P I ④	3 0 0	6 0 0	9 0 0
K P I ④実績	3 9 5		3 9 5
K P I ⑤	1 0	1 0	2 0
K P I ⑤実績	1 7		

（3）K P I の計画目標の達成の理由（令和5年度）

K P I ④

- ・ハローワークと併設の施設である埼玉しごとセンターに就職氷河期コーナーを新たに開設することで、ハローワークと連携した支援を実施できた。
- ・マッチングイベントなどを数多く実施する埼玉県企業人材サポートデスクが実施するイベントへの誘導や、当該イベントに参加した求職者を就職氷河期コーナーの支援につなげるなど、事業間の連携強化を図った。

K P I ⑤

- ・長期無業者は正規雇用へのステップとして非正規雇用から始めることが多いことから、就業意欲を醸成させる観点により、非正規雇用での就職者数を目標とし、参加者が過度なハードルを感じることはないように支援を実施した。

（4）効果検証（令和5年度）

令和6年7月16日（火）に開催された埼玉就職氷河期世代活躍支援プラットフォーム会議にて、プラットフォーム構成員の方々による達成状況の検証及び審議をいただいた。